

平成29年度 第2回柏原市総合教育会議議事録

日 時	平成29年12月25日(月) 午前10時から午前10時45分
場 所	柏原市教育センター2階 柏原市教育委員会 教育委員会室
出 席 者	<p>(柏原市総合教育会議構成員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市長 富宅 正浩 (議長) ○教育委員会教育長 吉原 孝 ○教育委員会教育長職務代理者 山崎 裕行 ○教育委員会委員 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子
欠 席 者	○なし
関 係 者	<ul style="list-style-type: none"> ○副市長 松井 久尚 ○政策推進部長 市川 信行 ○総合政策監 山口 智弘 ○健康福祉部長 石橋 敬三 ○教育部長 尾野 晋一 ○教育部次長兼教育総務課長 福島 潔 ○教育部教育総務課参事 寺川 款 ○教育部次長兼学務課長 松田 成史 ○教育部指導課長 野間 浩一 ○教育部次長兼スポーツ推進課長 石垣 好啓 ○教育部社会教育課長 磯部 賢二
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ○政策推進部次長兼企画調整課長 瀬田 友之 ○政策推進部企画調整課主幹 石橋 智成
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 出席者紹介 4 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度予算について (2) 柏原市立小学校・中学校の適正規模・適正配置について (3) いじめ問題について (4) その他 5 閉会

<p>(山崎委員)</p>	<p>「柏原市教育振興基本計画 改定版」に基づきまして、予算化に向けた検討を進めているところでございます。本日は、私と教育委員の皆さんとの会議の場ですので、委員の皆様からのご意見をお聞かせいただければと考えております。</p> <p>委員の皆様より何かございますでしょうか。</p> <p>今年度は、柏原中学校の耐震化工事を実施していただき、これで市内全小・中学校の耐震化が完了いたしました。全ての児童、生徒、そして教員の安全が確保されましたこと、心から感謝いたしております。</p> <p>そしてこれからも、引き続き、教育環境の整備にご尽力いただきたいをお願いいたします。</p> <p>平成30年度予算につきましては、教育委員会事務局の方から、教育環境の整備に関する事業についても、予算要求をおこなっていると聞いておりますが、私の方からは、普通教室へのクーラー設置について、着実に進めていただくことをお願い申し上げます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>本当に最近の夏の暑さは大変厳しいものとなってきておりまして、夏休みの前後も大変暑い状態が続いております。子どもたちが安全に、また安心して授業を受けるためには、やはり普通教室へのクーラー設置は必要不可欠であると我々市長部局でも認識しております。教育委員会の方で作成していただいております年次計画に基づいて、予算措置をしてまいりたいと考えておりますが、今後の計画はどのようになっておりましたか。</p>
<p>(福島次長)</p>	<p>教育総務課の福島です。よろしく願いいたします。</p> <p>クーラーの設置計画でございますが、中学校につきましては平成29年度及び平成30年度で全校への設置が完了しますよう取り組みを進めています。また、小学校につきましては、中学校に引き続き平成32年度末までに全校への設置が完了できるよう計画を進めているところでございます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>わかりました。</p> <p>計画どおり進めていけるよう、可能な限り財政面で協力していきたいと思っております。</p> <p>他に要望等ございますか。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>私からは、国分中学校グラウンド整備事業についてのお願いを申し上げます。</p> <p>昨年度、教育委員会の方からジェイテクト社員寮跡地を教育財産として取得していただきますよう、申出をさせていただきましたところ、</p>

	<p>生徒の教育環境の向上についてご理解をいただき、取得についてご配慮いただいたところでございます。</p> <p>現在、建物についてはすべて撤去され何もない状態となっております。我々教育委員も本市の厳しい財政状況はよく理解しておりますが、できる限り早急に子どもたちが使用するグラウンドとしての整備ができますよう、よろしく願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>これについては、教育委員会ではどのような整備計画を考えているのですか。</p>
(福島次長)	<p>当該用地は現在、柏原市土地開発公社の所有となっておりますので、平成30年度において、当該公社から教育財産として市が買い戻す公有財産購入費の予算をお願いしているところでございます。また、平成31年度にはグラウンド整備工事を計画しておりますので、平成30年度にそれに向けた実施設計業務の予算をあわせてお願いしているところでございます。</p>
(富宅市長)	<p>わかりました。</p> <p>皆さんもご承知のとおり、財政面では非常に厳しいものがありますが、可能な限り協力ができるよう検討を進めていきたいと考えております。</p>
(吉原教育長)	<p>この12月の市議会におきましても、教育に関係する議論が多くなされたことは、市長もご存知のとおりでございます。</p> <p>中でも、今回、議員からご指摘のありました学校のトイレにつきましては、生活様式が変化し、ご家庭をはじめ様々な施設で、洋式化された、また清潔なトイレが増えてきている一方で、各学校のトイレは老朽化が進んできており、改修をして欲しいというご要望もございません。教育委員会としましても、空調の次には進めていきたいと考えております。</p> <p>また、学習指導要領が変わり、英語教育やプログラミング教育といったものがでてくる中で、ICT機器につきましては、既にサポートが終了しました基本ソフトウェアを使ったパソコンを使用しているのが現状であります。新しい学習指導要領にもありますように、今後そういったICT機器を活用した学習というものが増えていく、そして重要になっていくと考えております。</p> <p>今、大変厳しい財政状況であることは、我々教育委員会としても受け止めなければならないことではございますが、やはり子どもたちがこの柏原市に住み続けたい、また子どもを産み育てたい市にするためには、先ほど申し上げましたクーラーやグラウンド整備に続きまして、</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>トイレ改修や ICT 機器につきましても計画をもって整備していければとの思いをもっております。</p> <p>今、教育長がおっしゃられた通り、必要なものであるとの認識はございますが、これらはすべて一斉にというわけにはまいりません。整備すべき事項について、何を優先していくか、計画性をもって取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、今度は私の方からお尋ねいたします。</p> <p>今年の6月議会におきまして、防災教育に係る補正予算措置を行いました。実施状況についてどのようになっていますか。また、子どもたちや教員の反応はどうでしたか。</p>
<p>(野間課長)</p>	<p>指導課の野間でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>9月に堅下南小学校の5・6年生、10月には柏原小学校6年生を対象に体験型防災学習を実施し、合わせて約200名の児童が参加し、地震発生直後に児童が自分の身を守るために取る行動を学びながら、合わせて、人を助けることや応急手当の方法などを学びました。</p> <p>この防災学習は大阪府内で初めての取り組みで、テレビや新聞にも大きく取り上げられ、注目を浴びました。</p> <p>参加児童からは、「地震が起きた時にどのように行動すればよいか」が学べてよかった」や「応急手当には正しい知識が必要だということが分かった」などの感想があり、児童が夢中で取り組むことで、自らの命を守るために必要となる「防災知識」が身につくといった成果があったものと考えております。</p> <p>教育委員会事務局としましては、今後も体験型防災学習を継続して取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>今回実施しました防災教育は、映像や音響を使って、非常に臨場感のあるものでした。子どもたちにとっても、ゲーム感覚で、楽しみながら、万が一の際に生き残る術を考え、学ぶ機会になったと思います。これについては、費用のかかることかもしれませんが、是非続けてほしいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>先ほど事務局からもありました通り、この取り組みは、テレビや新聞等で非常に注目され、私自身も拝見しましたが、非常に迫力があり、少し怖がる子どもたちがいるほど、臨場感のあるもので、子どもたちにとっては、いざという時に自分の身を守る術を学ぶ良い機会になったと思います。</p> <p>また、今年10月には台風21号による豪雨の影響で土砂災害の危険性に加えて、大和川や石川で氾濫危険水位を超えたことから、広範</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>囲に避難指示を出す結果となりました。</p> <p>学校施設につきましても、避難所としてご対応くださり、ありがとうございました。</p> <p>今回実施された防災ゲームは大規模地震の想定であったとのことですが、洪水や土砂災害など、自然豊かな柏原市は、常に災害とも隣り合わせであると言えます。</p> <p>いざという時、子どもたちが、自ら命を守るための行動をとることができるよう、普段から防災教育を行うことは大切だと考えています。</p> <p>予算に限りはありますが、様々な工夫をしていただき、今後も防災教育の充実に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>無いようでしたら、只今協議させていただいた、学校設備の整備や防災教育については、検討をさせていただき、できるだけ予算に反映させてまいりたいと思います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(2) 柏原市立小学校・中学校の適正規模・適正配置について</p> <p>それでは議事の(2)、「柏原市立小学校・中学校の適正規模・適正配置について」に移ります。</p> <p>2年前の総合教育会議の議事に柏原市立小学校・中学校の適正規模・適正配置についての議事がありましたが、現在の状況はどのようになっていますか。</p>
<p>(松田課長)</p>	<p>学務課の松田でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>平成28年9月に柏原市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針が策定されました。現在、国分東小学校は、全学年単学級の小規模校となっていますことから、基本方針に則り、国分小学校と国分東小学校の統合について説明会を順次実施しております。具体的には、平成29年5月9日に国分東小学校PTA役員に、5月18日に国分東小学校健全育成会に、7月27日に国分東小学校の保護者全員に説明をいたしました。また、9月5日に国分小学校健全育成会、9月15日に国分小学校PTA役員に説明会を実施しました。また、国分中学校、国分東小学校、国分小学校の各校長にも、8月8日に説明をしております。</p> <p>説明会で頂きましたご意見は、国分東小学校では、通学路が長くなることから、通学路の安全を確保するためにスクールバスを運行させてほしい、人数が多くなることできめ細かな指導ができなくなるのではないかと、統合までに国分小学校の児童や先生と交流を深めてほしい等です。受け入れ側の国分小学校では、人数が増加することから、教室の数は足りるのか、空調やトイレの整備もしてほしい等施設に対す</p>

<p>(山崎委員)</p>	<p>るご意見も頂きました。</p> <p>教育委員会としましては、これらのご意見を受け、子どもたちの教育環境が充実されるような方策を可能な限り導入して、保護者や地域住民のご理解を得ながら統合に向けて進めてまいります。</p> <p>学校の統廃合を検討する際、いつも念頭にありますのは、少人数での学習による良い面と悪い面のことです。</p> <p>少人数の学校では、きめ細やかな指導や対応ができますが、その反面、友達関係の固定化につながり、社会性の育成への影響などが懸念されます。</p> <p>また今、事務局から報告がありましたが、保護者は子どもが今までと違う通学路を通して学校へ行くことや、人数が増える学校での教育環境などを気にしておられます。</p> <p>我々教育委員としましては、子どもたちへの過重な負担が出ないように、また保護者が子どもたちを安心して学校へ送り出せるよう、事務局にはしっかりとした対応をお願いしたいと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>教育委員会では、常に柏原の子どもたちのことを考え、また各学校でも子どもたちのために様々な工夫をして取り組みをされていますが、やはりそれも適正な人数が維持されてこそ、良い結果に結びついていくと考えています。子どもたちにとってより良い集団が形成できるよう取り組みを進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>併せて、保護者や地域の方々にご理解いただけるよう、今後も丁寧な説明を続けるようお願いをしておきます。</p>
<p>(吉原教育長)</p>	<p>統合に関する説明会では様々なご意見を頂戴しました。本日最初の議題で小中学校のクーラー設置については、事務局から平成32年度末までに順次整備していくという計画の説明がございました。また、それに引き続いてある一定、トイレの整備も進んでいくとしますと、国分東小学校と国分小学校の統合というのは、そのあたりのスケジュールも踏まえて、検討していかなければなりません。私としましては、平成31年、32年のできるだけ早い時期に国分小学校をきちんと整備したうえで統合を進めていきたい。また、その計画をできるだけ早く打ち出すことによって、両小学校に通われている子どもたちの将来のことが早めに分かった方が良く考えています。我々も一定の計画ができ次第、しっかりと地元で説明して進めていきたい。その間に受け入れに関するソフト面についても、2校に分かれているうちからやっておかないといけないことを、今から順序良く両小学校、また中学校も入れてやっていく。それが最終的には国分中学校のグラウンド用地のさらなる活用にもつながっていくという長いスパンで考えていき</p>

	<p>たいと思っています。</p> <p>それから、去年の11月の総合教育会議で義務教育学校の創設の必要性について、教育委員会の方から意見を出させていただきました。</p> <p>これは、ご承知のように昨年から小学校と中学校の9年間を一つの学校として運営するという新しい学校の形として法整備されたものでございます。大阪府下では守口市が第一号、和泉市が第2号、来年度以降には東大阪市でも義務教育学校を設置する計画が打ち出されております。義務教育学校の形としては、同じ敷地の中というのが一番スムーズであると思いますが、隣接地であったり、少し離れているけれども、一小一中を義務教育学校にするというケースも考えられます。</p> <p>それから、学校関係者からの話を聞いておりますと、近頃は学校に対する校区単位での地域の方の要望に熱が入ってきているように感じております。これにつきましても、コミュニティスクール、学校運営協議会制度というものが既に法整備されています。これは、学校長が作る学校運営の基本方針を承認するといった機能、また学校運営に関する意見を教育委員会や校長に述べるといったことができるものでございます。さらには教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができる。そういう一定強い権限を学校運営協議会に与えて、地域で学校を運営してもらおうといった制度でございます。</p> <p>こういったコミュニティスクールの制度と先ほど申しました義務教育学校という制度を同時に取り入れていくといったことが今後大事になってくると思います。コミュニティスクールは大阪府下では河内長野市が全校でやっております。これは地域の意見を吸い上げるといった本来あるべき学校の姿に近づくという面もありますので、義務教育学校にしようとする議論の過程でそのままその組織を、学校運営協議会、コミュニティスクールにするといった方法で、義務教育学校とコミュニティスクールの機能を併せ持った学校の設置について本格的に検討に入りたいと思っています。</p> <p>先ほど申しあげました隣接型では、堅下南小中、そのあたりを中心に、しっかりと義務教育学校に持っていくといった前提でカリキュラム面も含めて9年間で子どもの教育を保証するということに着手していきたいと考えております。</p> <p>(富宅市長) わかりました。義務教育学校は教育効果の向上だけではなく、社会性の育成、いじめ等に対する指導上の諸課題の解消にもつながると聞いております。是非、義務教育学校の設置については、引き続き検討をよろしくお願いします。</p> <p>(3) いじめ問題について</p> <p>(富宅市長) それでは、議事(3)「いじめ問題について」でございます。</p>
--	---

<p>(近藤委員)</p>	<p>「いじめ等」については、この総合教育会議で継続して意見交換を してまいりましたが、今年3月、教職員とのかかわりの中で、中学2 年生の男子生徒が自殺した報道がございました。学校内では子ども同 士の他、教職員との関係で苦しい思いをする子どももいることが明ら かになった事件だと思いますが、皆さまはどのように感じられました か。</p> <p>市長がおっしゃったように文部科学省が公表しました平成28年度 の児童生徒の問題行動・不登校調査によりますと、教職員との関係に 悩んで、3人の生徒が自ら命を絶っています。</p> <p>詳しくは公表されていませんが、先ほどの中学2年生の男子生徒も 含まれていると思います。</p> <p>私たち保護者は、学校を信頼して大切な子どもを預けていますので、 このようなことが起こるのは、非常に残念でなりません。柏原市では 絶対にこのようなことの無いよう、教職員の皆様への指導や研修を徹 底して欲しいと願います。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>そうですね。</p> <p>生徒を守るというのが教員のひとつの使命でもあると思いますが、 その教員が逆に生徒を追い込むということは、絶対にあってはなら ないと思います。</p> <p>今回の報道をうけて先生方にも再認識していただき、指導すべきこ とがあるのであれば、十分な注意をもって行っていただきたいと思 います。</p> <p>柏原市のいじめ対策等、現状はどうですか。</p>
<p>(野間課長)</p>	<p>いじめ対策としましては、毎月、学校から件数や内容についての調 査を行うほか、市独自で年2回、児童・生徒を対象としたアンケート 調査を実施し、いじめやその兆候等の把握に努めております。</p> <p>また年3回、いじめ問題対応委員会でそれらの調査結果を分析し、 各学校に指導しております。</p> <p>そのほか児童・生徒だけではなく、保護者向けにもカラー刷りのい じめ防止啓発チラシを配布しております。</p> <p>いじめはどの学校でも、どの子どもでも起こりうるものです。認知 件数が多い学校こそ、教職員の目が行き届いていることのあかしであ るとの考え方が一般的となってきましたが、認知件数が増えること により、保護者や地域の方々が不安に思わないよう、「普段から積極 的にいじめを認知し、しっかりと対応し速やかに解決する。」この「解 決」を丁寧におこなうことにより、いじめゼロにつなげたいと考 えております。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>やはりいじめ問題というのは、本当に皆さん危惧されているところだと思いますので、引き続き、いじめ防止に取り組んでいただきたいと思います。いじめゼロというのは、私は可能であると思っておりますので、実現に向けてよろしく願いいたします。</p> <p>少し話は変わりますが、今年の夏のことですが、市内の中学校に在籍する生徒の水難事故をはじめ、柏原市に関係のある青少年の命に関わる事件がありました。先週末には終業式を終え、クリスマス、年末年始と心が浮かれることも多くあるかと思えます。そのような中、各地域では、子どもたちを見守る取り組みをしていただいていると思いますが、現状はどのようになっていますか。</p>
<p>(礒部課長)</p>	<p>社会教育課の礒部です。よろしく願いいたします。</p> <p>教育に関連しました各団体の皆様には、『子どもの安全見まもり隊』など青少年の安全や健全育成にかかる様々な取り組みを行っていただいております。また特に年末には、本市青少年指導員をはじめ、各地区の青年団の皆様により「歳末街頭パトロール」としまして、各地区において夜警を行っていただいております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>分かりました。都会では段々と地域のつながりがなくなっていると思われませんが、本市は幸いにして、そういった地域のつながりが残っている良い場所だと思っております。</p> <p>柏原の将来を担う子どもたちが悲しい事態に陥らないよう、学校はもとより、教育の各種団体のお力をお借りして見守っていただけたらと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(5) その他</p> <p>それでは議事の「(4) その他」についてですが、皆さま、何か案件等はございますか。</p> <p>(案件なし)</p> <p>ないようですので、最後に事務局より何かありますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>次回の会議日程についてでございます。</p> <p>前回会議で、今年度は予算編成時期に行うとさせていただいておりますので、今回を最終の会議とさせていただきたいと思います。</p> <p>来年度の開催については、改めて開催の日程調整をさせていただきたいと考えております。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>ただいまの事務局からの提案に対しまして、何かご意見等ございますか。</p> <p>(意見等なし)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>特に、ご意見等がなければ、事務局の方であらためて日程の調整をさせていただきますので、よろしくお願いします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>【5 閉会】 本日の議事は、以上をもって全て終了いたしました。本日はこれで散会とさせていただきます。 ありがとうございました。</p>